

迅速な予告指令、出動指令を可能にする高機能消防指令システム



出動までの流れ

119番受信

固定電話、IP電話、携帯電話やNET119等からの119番受信と同時にシステムが起動します。



災害種別の決定

通報内容から災害の種別や規模を決定します。



災害発生地点の決定

位置情報通知システム及び指令課員による聴取により通報者の発信位置を検索し、災害発生場所を特定します。



予告指令

災害通報を受信している旨を各署に対して音声合成による予告指令を放送します。



出動車両の編成

災害の内容や場所に応じて、最適な出動隊を自動的に編成します。



出動指令

出動隊が所属する各署へ音声合成による出動指令を出し、災害内容や地図が記載された指令書が同時にプリントされます。



出動

指令を受けた出動隊が災害現場に急行します。



高機能消防指令センターと各署所間のネットワーク回線二重化



万一、高機能消防指令センターと各署所間の既設回線が切断されても、通信が可能となるようネットワークを二重化。

高機能消防指令システムの特徴

的確で迅速な初動体制の確立

固定電話の発信地情報、携帯電話のGPS情報等から入電後直ぐに予告指令を下せる。



通報者の第一声で予告指令

出場車両編成の最適化

車両の位置情報を常に把握し、災害地点までの到着予測時間を道路距離や道路幅から瞬時に算出し、最も早く到着できる車両を編成する。



出場車両と高機能消防指令センターの円滑な情報共有

ペンタブレット機能により、受信内容や周辺地図の情報を車両端末に瞬時に送信でき、情報共有が円滑にできる。



表示盤

左側に55型2面、中央に75型の3面のディスプレイを配置し、車両運用状況や気象観測情報など指令業務に必要な各種情報を任意に選択表示することで高機能消防指令センター内での情報共有が図れます。



指令台

119番通報受付から指令業務、活動終了までの一連の操作を行う装置です。



支援情報表示装置 自動出動指定装置 地図等検索装置 地図等検索装置(補助)

感染症対策機器を設置

エアロシールドにより、浮遊菌やウイルスを除去します。

自然対流

24時間365日災害と戦う高機能消防指令センターに、安心・安全な空間を実現します。

フェイスティングオン デザイン

無理な視線移動や姿勢をとることなく自然な動作のまま行える、最適な操作環境を提供します。



エルゴノミクスイメージ

輻輳時自動モード切替

大規模災害などにより通報が輻輳した場合でも、補助扱者席にて受付ボタンを押すだけで瞬時に輻輳対応モードへ切り替わります。

